

# ニュースクリップ & 映像教材

■松下視聴覚教育研究財団「第30回実践研究助成」ならびに「第11回研究開発助成」募集開始  
■「第10回広島国際アニメーションフェスティバル」参加作品募集  
■平成15年度全国主要地方公共団体に対する要望活動実施中

## AV情報

### ■松下視聴覚教育研究財団「第30回実践研究助成」ならびに「第11回研究開発助成」募集開始

(財)松下視聴覚教育研究財団では、さまざまな視聴覚メディア・情報通信メディアを効果的に活用し、それぞれの教育課題の改善に取り組む実践的な研究を行う団体に対して「第30回実践研究助成」の募集を行う。

また、視聴覚教育振興の一層の促進を期待し、「視聴覚メディアを活用してより豊かな人間性を育成する研究」や「新しいメディア活用の方向性を示唆する研究」等、独創的な研究開発活動への支援を行うべく「第11回研究開発助成」の募集も行う。『第30回実践研究助成』

○助成金額・件数

1件あたり「助成金30万円＋映像・情報機器」×60件

○応募受付締め切りは平成16年1月31日まで。

『第11回研究開発助成』

○特定課題

下記の特定課題のいずれかのテーマに沿って研究に取り組むこと。

①「初等中等教育における“教育の情報化”に対応した授業設計と実践・評価に関する研究」

②「教師教育（教員養成・教員研修）用e-Learningシステムの開発に関する研究」

③「高等教育におけるe-Learningの学習効果に関する研究」

○助成金額・件数

1件あたり100万円×20件

●上記2助成の応募資格・応募要項・申請書の請求等については、下記の問い合わせ先まで。

〈問い合わせ先〉

(財)松下視聴覚教育研究財団  
事業推進課  
〒105-0001東京都港区虎ノ門1-

14-1 郵政互助会琴平ビル5F

TEL 03-5521-6100

<http://www.mef.or.jp>

### ■「第10回広島国際アニメーションフェスティバル」参加作品募集

広島市、(財)広島市文化財団および国際アニメーションフィルム協会日本支部等の主催により開催される標記フェスティバルの参加作品の募集を行う。

〈フェスティバル開催期間〉

平成16年8月19日～23日

〈応募作品の条件〉

フィルム又はビデオテープによる作品であること／上映時間が30分以内の作品であること／平成14年4月1日以降に完成された作品であること／他

〈応募の方法〉

応募者は下記の問い合わせ先より「出品申込書」を入手し、必要事項を記入のうえ、平成16年4月1日までに事務局まで送

## トピックス

桜映画社  
陶芸家・板谷波山を描いた  
「HAZAN」をロードショー公開

(株)桜映画社では、五十嵐匠監督による孤高の陶芸家・板谷波山と彼を支えた人々を描いた「HAZAN」(榎木孝明主演)を平成16年1月2日(金)よりロードショー公開する。

〈あらすじ〉

明治36年、夏。窯に燃えたぎる炎を見つめる、一人の男がいた。将来を約束された美術教師であった彼はその夜、すべてを投げうって陶芸に自らの生涯を捧げる決心をする。やきものを芸術の域まで高めたと評される孤高の陶芸家、板谷波山の誕生

である。

陶芸家初の文化勲章、近代陶芸唯一の重要文化財指定など後に数々の栄光を手にする波山がたどった軌跡は、決して平坦なものではなかった。満足のいく作品が出来ず、窯にくべる薪にも不足する生活が続く。そんな中、彼の夢を誰よりも信じ、希望の火を灯し続けた妻・まるが波山の作品に命を吹き込んだ。五十嵐監督がストイックなまでに理想を追求する男とそれを支える女の夫婦愛を鮮烈に描く。榎木孝明は、自身も陶芸の経験を持ち、画家としても活躍する。南果歩が、芯に熱いものを秘めた妻・まるの強い思いをスクリーンに甦らせている。



〈上映詳細〉

会場・東京都写真美術館ホール(東京都渋谷区『恵比寿ガーデンプレイス内』電話03-3280-0099) / 定員入替制 / 上映時間・11:00・13:30・16:00・18:30 / 上映期間・1月2日～23日(1月5・13・19日休映、2日～4日は1回目と4回目の上映はなし) / 問い合わせ(株)桜映画社 電話03-3478-6110 / 2日～4日は各回先着30名様に陶芸品プレゼント。

付する。

〈問い合わせ先〉

広島国際アニメーションフェスティバル事務局

〒730-0812広島市中区加古町4-17 アステールプラザ内

TEL 082-245-0245

FAX 082-245-0246

http://www.urban.ne.jp/home/hiraoanim

■平成15年度全国主要地方公共団体に対する要望活動実施中

(財)日本視聴覚教育協会、(社)日本教育工学振興会、(社)日本教材備品協会、全日本学校教材教具協同組合、日本視聴覚教具連合会の合同事業として、全国の主要地方公共団体(146か所)に対し、教育設備の整備等についての要望活動を実施中である。

〈要望内容〉①教材の整備について②教育用コンピュータの整備および財源措置について③教

育用ソフトウェアの財源措置について④インターネットの通信料等の財源措置について⑤外国語学習機器や教材の整備について⑥学校事務機器の計画的導入について⑦学校図書館図書等の整備について

なお、年内には146団体に対して訪問活動を終える予定。

## 短 信

■独立行政法人国立オリンピック記念青少年総合センターが職員を募集

〈採用職名及び人数〉研修指導専門職1名(担当職務)センターの主催事業、調査研究事業等の企画、実施、評価等に係る専門的職務(応募資格)大学卒業または同等以上の学力を有する者/青少年に係る多様な教育領域において専門性を有する者/他(採用予定年月日)平成16年4月1日(応募締切り)平成15年12

月15日。その他詳細については下記の問い合わせ先まで。

〈問い合わせ先〉

国立オリンピック記念青少年総合センター総務部総務課人事係  
〒151-0052東京都渋谷区代々木神園町3-1

TEL 03-3467-7201

■(株)内田洋行は、10月11日付にて専務取締役教育システム事業部長の大江正之氏が退任し、新たに大久保昇氏が取締役教育システム事業部長兼ICTシステムサポート部長に就任した。

■日本教育メディア学会では、11月15日に開催された第10回総会において役員の改選が行われ、新会長に生田孝至氏(新潟大学教授)が就任した。任期は3年。

## 討 報

■鈴木勢津子氏(東京都小学校視聴覚教育研究会参与)が、去る11月2日逝去された。享年73歳。

## ワークショップ

### 文部科学省助成 「情報発信におけるメディア・ リテラシーワークショップ —エル・ネッターをめざして—」 参加者募集

社会教育や学校教育の場で利用できる教材の開発・活用を促進することを目的に、視聴覚センター・ライブラリー等職員、教育委員会職員および教職員等を対象とする、(財)日本視聴覚教育協会主催、(財)衛星通信教育振興協会(交渉中)後援によるワークショップを開催します。

コミュニケーションの手段としての映像メディアの特性や表現技法、また著作権処理や用語の問題を理解し、地域における生涯学習講座や教員研修講座など映像教材の制作に関わる人材の養成と確保をめざします。

そして、エル・ネット(衛星通信教育情報ネットワーク)により、地域から全国に番組を送信できることをめざします。

#### ◆期日

平成16年3月11日(木)～12日(金)

#### ◆会場

国立オリンピック記念青少年総合センター  
(東京都渋谷区代々木神園町3-1)



#### ◆スケジュール

○2004年3月11日(木)

- 9:40 受付  
10:00 全体・講義(岡本 薫)  
「情報発信におけるメディアリテラシー」  
11:11 全体・講義(俵 幸嗣)  
「情報発信において注意すべき著作権の動向について」  
11:30 全体・講義(吉田広毅)  
「課題の説明」  
13:00 班別・ノンリニア編集について  
13:30 実習 シナリオ収録

ノンリニア編集

- 18:00 終了  
19:00 交流会

○3月12日(金)

- 9:00 実習(収録・編集)  
14:00 全体・講義(長塚正明)  
「エル・ネットについて」  
14:30 全体・作品発表  
〈エル・ネットによる作品の送信〉  
15:50 全体・協議  
今後の課題  
16:30 終了

#### ◆講師

- 岡本 薫氏(文部科学省研究振興局学術研究助成課長)  
長塚正明氏(文部科学省生涯学習政策局学習情報政策課教育メディア調査官)  
俵 幸嗣氏(文化庁著作権課著作権調査官)  
吉田敦也氏(徳島大学教授)  
吉田広毅氏(常葉学園大学講師)  
ほか(一部交渉中)

#### ◆内容

映像による表現技法の習得をふまえ、デジタルビデオによる映像教材の自作および完成した教材の利用普及までの技術習得をめざします。

番組の企画構成、収録・デジタルビデオ編集、エル・ネットによる作品の送信を実習します。なお、実習は、2名でグループを構成し、各グループごとに番組制作の企画立案、構成をし、デジタルビデオカメラで収録した後、パソコンに映像を取り込み、動画編集ソフトを使って、2分程度の作品に編集し、仕上げます。

研修のまとめとして、講師と受講者で協議します。

なお、ワークショップの趣旨を広めるため、全過程を収録し、後日、エル・ネットで放送します。また、受信局では、これを録画して、社会教育団体等に貸し出します。

#### ◆受講対象

\*全日程に参加できることを条件とします。

教育委員会職員、学校教職員、公民館職員、視聴覚センター・ライブラリー職員、教育センター、社会教育(生涯学習)センター職員等

#### ◆定員

24名(定員になり次第締切)

#### ◆締切日

平成16年2月10日(火)

#### ◆参加費

11,000円(教材費等)

\*宿泊費は含まれません。オリンピック記念青少年センターにも宿泊施設があり、1泊食事なし4,300円です。宿泊は各自でお取りください。

#### ◆問合せ先

(財)日本視聴覚教育協会 WS係  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門  
1-17-1 視聴覚ビル  
TEL 03-3591-2186  
FAX 03-3597-0564  
Email: info@javea.or.jp  
URL: http://www.javea.or.jp